

# 盗難事件続発！

将監地内において、車上ねらい、配達物やタイヤが盗まれる事件が発生しています。

各事件は、無施錠であることが共通しています。

○被害を防止するために

- ・ 車を離れる際は、確実に施錠をする。
- ・ ポストは南京錠やダイヤル錠で施錠する。
- ・ 貴重品は人目に付くところには置かず、タイヤ等の大きな物は施錠設備のある倉庫やガレージに保管する。
- ・ 防犯カメラやセンサーライトを設置するのも、有効な手段です。



将監交番でも被害場所を中心に警戒を強化していますが、不審者を見かけたり、犯行現場を目撃した際は、すぐに110番又は将監交番に通報してください。

## 広報

# 将監



泉 警 察 署  
将 監 交 番

372-6149

## 110番の適切な利用について

110番は、警察官が急行し、被害者の救出、犯人の検挙、交通事故の捜査などを行うための「緊急の場合のための通報」です。

平成28年に宮城県警察が受理した110番総件数は、約15万2000件ですが、その内約40%が要望・問合せ、約20%がいたずらや間違い電話でその対応のため、本来の110番通報への対応に遅れが出てしまうこともあり得る状態です。

緊急の事件・事故ではないけれど、警察に相談したいことがあるときには、警察相談ダイヤル#9110を利用して下さい。

### 庭木はしっかり手入れしよう

庭の木が敷地外にのびて、歩道等にはみ出していたり、道路標識を隠してしまっている所が散見されます。

歩道にはみ出したり、道路標識を隠してしまいますと、交通の障害となります。

自宅の庭木が敷地外に出ないように適切に管理しましょう。

### 路上駐車はやめましょう

将監地内において、路上に駐車されてることによって交通の障害となっている事案が増加しています。

緊急車両などの通行の障害になりますので、路上に駐車するのはやめましょう。





**特殊詐欺被害防止…電話で「金をくれ」はだましの手口！まず相談！**

**夏の交通事故防止運動**

**期間 平成29年7月21日(金)から同年8月20日(日)まで**

夏は行楽時や帰省時における長距離運転の機会が多くなります。疲労による居眠り運転や漫然運転は大変危険です。重大事故を起こさないために、十分な休養を取るとともに、緊張感を持った運転に努めましょう。

**1 適度な緊張感を保持したゆとりのある運転の徹底**

- ・ 眠気や疲れを感じたら、早めに休憩しましょう。
- ・ 過労運転や漫然運転にならないように、十分な休憩を取り、緊張感を保って運転に集中しましょう。
- ・ ドライブや旅行等は余裕のある計画を立て、ゆとりある運転に努めましょう。

**2 後部座席を含めた全ての座席のシートベルト等の正しい着用**

- ・ 平成28年の四輪乗用中死者30人のうち、シートベルト非着用の死者は9人でした。事故状況をみると非着用死者9人中8人は、シートベルトさえ着用していれば、命を落とすことはなかったと考えられます。
- ・ シートベルトは交通事故の被害軽減効果が高く、シートベルトを正しく着用することが、死亡事故抑止に極めて重要となっています。

**警察官・警察職員を募集しています！**

職種	採用予定人員	申込受付期間	第1次試験日	第2次試験	最終合格発表	
警察官B (大卒以外)	男性	55人程度	7月28日(金)	9月17日(日)	10月上旬	11月中旬
	女性	10人程度	8月25日(金)		10月中旬	
職種	採用予定人員	申込受付期間	第1次試験日	第2次試験	最終合格発表	
短大卒業程度	警察事務	10人程度	8月10日(木)	9月24日(日)	10月下旬	11月中旬
高校卒業程度		5人程度	9月1日(金)		11月上旬	
				10月下旬		
職種	採用予定人員	申込受付期間	第1次考査	第2次考査	最終合格発表	
航空整備士	1人程度	8月10日(木)	9月24日(日)	10月下旬	11月中旬	
警察用船舶職員(航海士)	1人程度	9月1日(金)				

願書は泉警察署や将監交番などで配布しています。

詳しくは宮城県警のホームページをご覧ください

**事件事故発生状況**

平成29年5月1日から5月31日まで

※ ( ) 内昨年同時期比

- 事件
  - ・ 車上ねらい 1件 (+1)
  - ・ 器物損壊 1件 (±0)
  - ・ 万引き 1件 (+1)
- 事故
  - ・ 人身事故 1件 (-4)
  - ・ 物損事故 37件 (+5)

**特殊詐欺予兆電話相次ぐ**

全国的に特殊詐欺の被害が後を絶ちません。泉警察署管内も例外ではなく、詐欺の予兆電話がかかってきています。

「私は大丈夫」と思っているにもかかわらず被害に遭うことがあります。少しでも不信感や不安を感じたならば、家族や警察に相談して下さい。引き続き注意をし、被害に遭わないように心掛けていきましょう。

